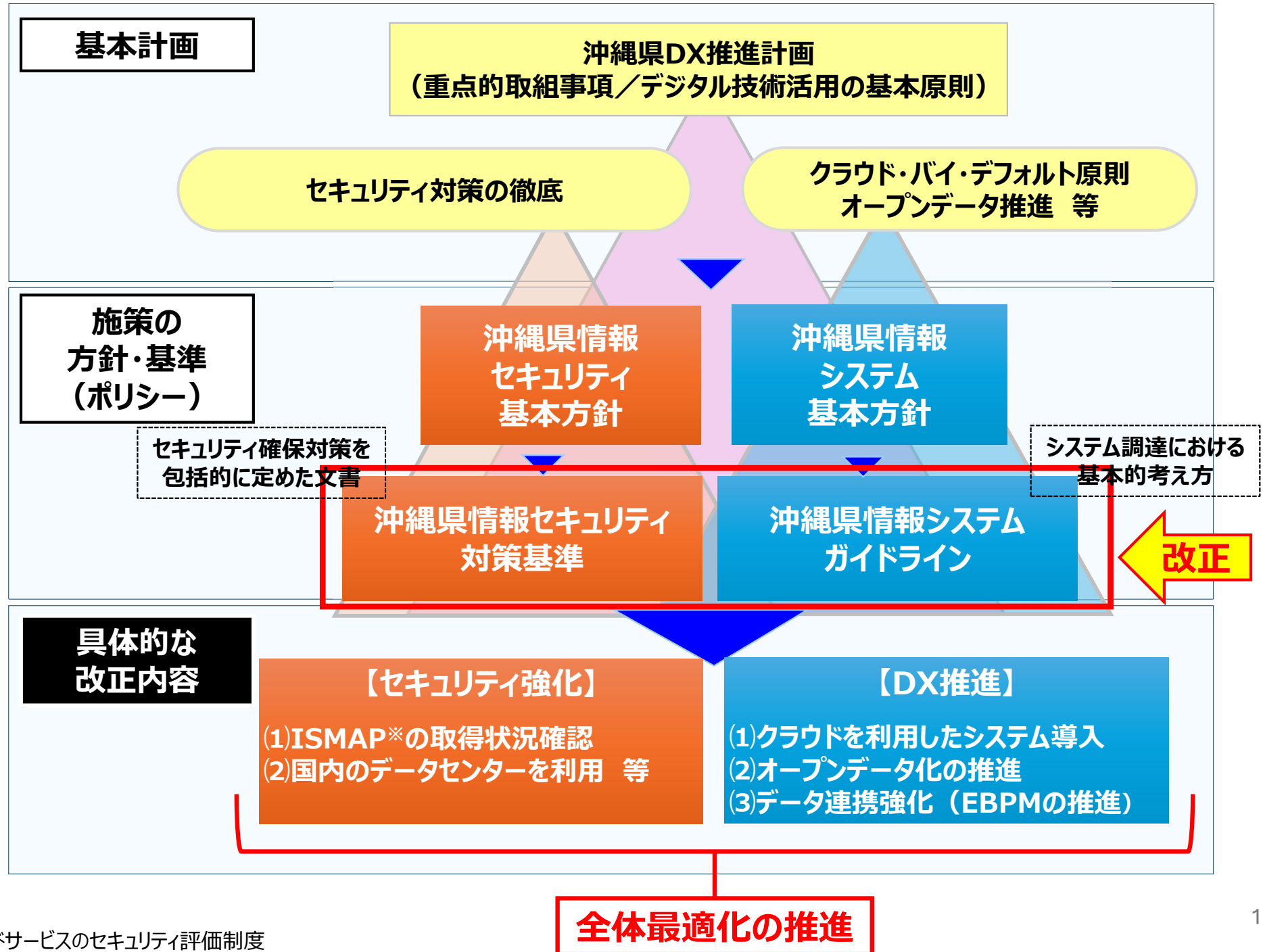


沖縄県情報システムガイドライン及び 沖縄県情報セキュリティ対策基準の一部改正について

< 2025/1/31 >
企画部情報基盤整備課

沖縄県情報システムガイドライン及び沖縄県情報セキュリティ対策基準の一部改正について



沖縄県セキュリティポリシー及びシステムガイドラインの改正概要

凡例

システムガイドライン

セキュリティポリシー

主な項目	説明
クラウドサービス導入 に向けた対策	<p>導入や運用が容易で、コスト抑制効果が高く、BCP対策強化にもつながるクラウドサービスを優先的に採用するクラウド・バイ・デフォルト原則を明記。</p> <p>これにより、従来のオンプレミスによるシステム開発・更改から、SaaSなどのクラウドを利用した最新のシステム導入を可能とし、システム調達を選択肢を増やし、業務プロセスの見直しも行いつつ、最適化を目指す。</p>
	<p>クラウドサービスの特性を踏まえ、ISMAP※等の取得状況の確認、機密性の高い情報を含め、国内のデータセンターに保存されるかやガバメントクラウドを利用する際のセキュリティ対策を「クラウドサービス利用基準」として策定</p> <p>※ 国のクラウドサービスのセキュリティ評価制度</p>
システム間 データ連携機能の強化	<p>オープンデータ化の推進という社会的要請に加え、EBPM等による高度なデータ分析やデータに基づく政策判断の前提となるデータカタログ化の推進に対応するため、システム開発時のデータ連携機能を強化</p>
業務委託時の セキュリティ対策の強化	<p>地方公共団体の外部委託先における情報漏えい事案が発生していることを踏まえ、委託先への要求事項を仕様書等に定めるようセキュリティ対策を強化</p>

【補足】沖縄県情報システムガイドライン及び沖縄県情報セキュリティ対策基準の一部改正について

背景（社会環境の変化） ⇒ デジタル社会形成基本法等の制定（国：R 3）

○人口減少・高齢化（労働力不足）
○働き方・生活様式の変化（テレワーク等）
○技術革新（A I、クラウド、ビックデータ）

○事務の効率化・合理化
○利便性・サービスの向上
○コスト縮減

D X

県のD Xに係る取組 ⇒ 沖縄県D X推進計画（官民データ活用推進計画）の制定（県：R 4）

行政分野

①オンライン手続き ②情報システムの標準化・共通化 ③テレワーク環境の整備
④オープンデータの整備・活用 ⑤情報セキュリティ対策 など

推進・向上

最近の動向 ⇒ 外部サービスの利用促進とセキュリティ対策の両立

○クラウドサービスの**活用**（情報システムの**運用コスト**や**初期費用**の削減、**BCP対策強化**）
○**公開データ**の**充実**（多様なデータ活用による**地域活性化**や**課題解決**への**社会貢献**）
○**庁内データ**の**連携**（データ連携・分析による**事務の効率化**や**E B P M**の**推進**）
○情報**セキュリティ対策**の**強化**（外部サービスの利用**リスク**や**サイバー攻撃**への対応）

**全体
最適化**

今回の取組 ⇒ 情報システムの**全体最適化**に向けた**ガイドライン**と**対策基準**の改正

更なる**県民サービスの向上**や**行政事務の効率化**、**コスト削減**を推進するためには、**情報システムの全体最適化**を**全庁的・長期的**に実施することが重要である。

このため、システム調達の基本事項を定めた**情報システムガイドライン**と**情報セキュリティ対策基準**を**クラウドサービス等の導入に対応**させるとともに、**セキュリティ対策を強化した基準等**に**改正**する。